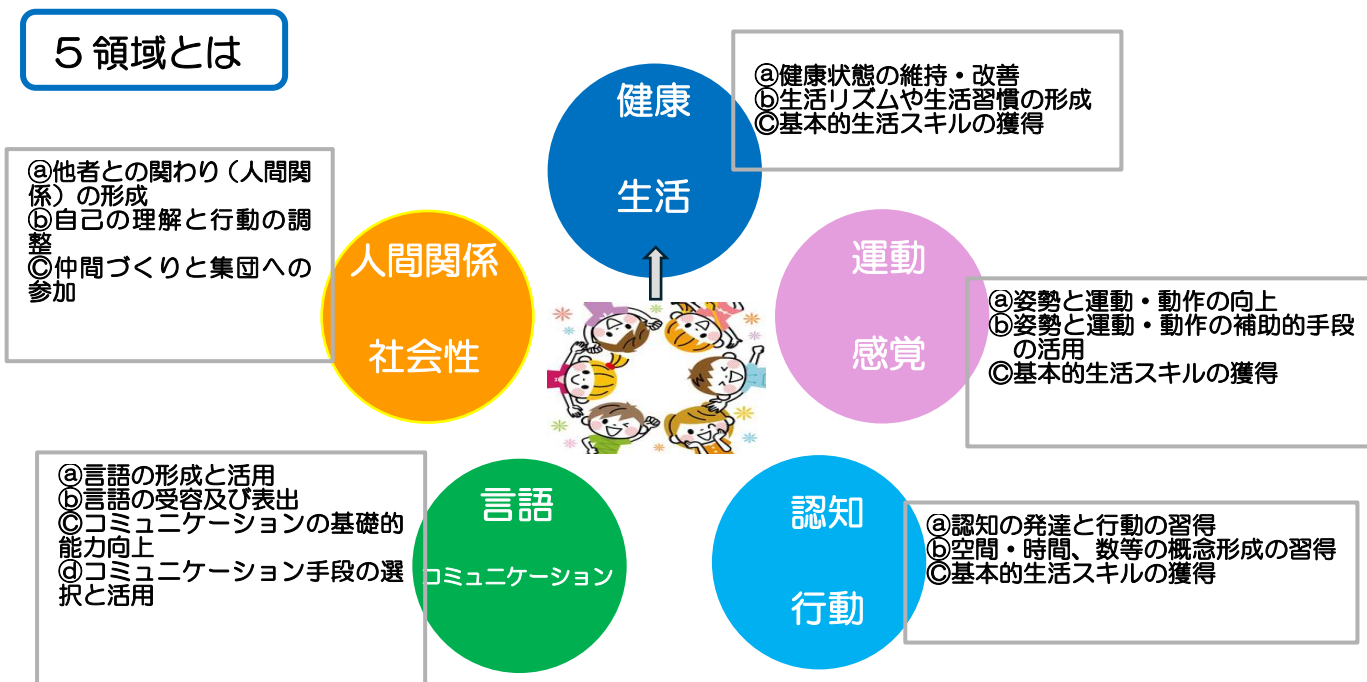



提供する具体的なサービスの内容


放課後等デイサービス Love&Smile りやん支援プログラム





【具体的な支援プログラム】

領域・ねらい	支援内容	具体的な活動例
<p>健康 ① 生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ②健康状態の維持・改善 ③生活のリズムや生活習慣の形成 ④基本的な生活スキルの獲得 	<p>②健康状態の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らの健康で安全な生活を作り出すことを支援する ・利用時の健康状態チェック(体調変化の際には適切な対応を行う) ・意思表示が困難な子どものサインに気づけるようなきめ細やかな観察 <p>③健康の増進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠、食事、排泄等の基本的な生活リズムを身につける支援 ・食を営む力の育成と楽しい食事への配慮、支援(咀嚼、嚥下、姿勢保持等) ・病気の予防や安全への配慮 <p>④リハビリテーションの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの子どもに合った身体的、精神的、社会的訓練を行う <p>⑤基本的な生活スキルの獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の周りを清潔にし、食事や衣類の着脱等生活に必要な基本的技能の習得に対して特性に合わせた支援を行う <p>⑥構造化等により生活環境を整える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で様々な遊びを通して学習できるよう環境を整える ・特性に合わせて時間やスケジュール、空間等視覚的にわかりやすく構造化する 	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い・うがい ・検温 ・畑での食育 ・クッキング ・所持品の管理 ・排泄 ・食事のマナー ・食器の使い方 ・掃除 ・入浴支援 ・衣類の着脱 ・靴を整える ・身の回りの環境の把握

領域・ねらい	支援内容	具体的な活動例
 <p>①姿勢と運動動作の向上</p> <p>②姿勢と運動動作の補助的 手段の活用</p> <p>③保有する感覚 の総合的な 活用</p>	<p>①姿勢と運動・動作の基本的技能の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 姿勢保持や上肢、下肢の運動 動作の改善及び習得 拘縮や変形の予防 能力の維持、強化 <p>②姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 姿勢保持の各種の運動、動作が困難な場合様々な補助用具の補助的手段を活用して支援する <p>③身体の移動能力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常に必要な移動能力の向上のために運動に関する遊び活動を実施していく <p>④保有する感覚の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 発達段階及び特性に配慮した視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう遊びを通して支援する <p>⑤感覚の補助及び代行手段の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 保有する感覚器官を用いて状況を把握しやすくするよう環境配慮、眼鏡や補聴器等を活用できるよう支援する <p>⑥感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 感覚や認知の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の提案及び支援を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 粗大運動、微細運動 リズム遊び ブロック 姿勢を整える 外遊び（散歩、縄跳び、球技、鬼ごっこ、遊具等）

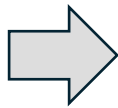
領域・ねらい	支援内容	具体的な活動例
 <p>①認知の発達と行動の習得</p> <p>②空間・時間数等の概念形成の習得</p> <p>③対象や外部環境の適切な行動の習得</p>	<p>①感覚や認知の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 視覚、聴覚を十分活用して、必要な情報を収集し認知機能への発達を促す支援を行う <p>②知覚から行動への認知過程の発達</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境から情報を習得し、必要なメッセージを選択して行動に繋げる一連の認知過程の発達支援を行う 特性に合った環境整備、関わり方に関する支援を行う <p>③認知や行動の手掛かりとなる概念の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 物、形、色、音が変化する様子、空間や時間等の概念の形成を図ることで認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援を行う <p>④数量、大小、色等の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> 発達段階に対応した数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得のための日常生活で具体的な働きかけを行う <p>⑤認知の偏りへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 個々の認知の特性を把握し情報を適切に処理できるよう環境調整や支援者の関わりの指導を行う ご家庭へ認知の偏りや特性に関する具体的な支援を提供していく <p>⑥行動障害への予防及び対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの難しさから生じる行動障害に対して予防策を講じ、適切行動の獲得に向けた支援を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ルールのある遊び（鬼ごっこ、カードゲーム等） 文字の読み書き 数の理解 お金の計算 時計の理解 絵画、工作、園芸など お手伝いや日常生活の中でのヴィジョントレーニング

領域・ねらい	支援内容	具体的な活動例
 <p>④言語の形成と活用</p> <p>⑥言語の受容及び表出</p> <p>③コミュニケーションの基礎的能力の向上</p> <p>④コミュニケーション手段の選択と活用</p>	<p>㊤言語の形成と活用 ・具体的な事物や体験と言葉の意味を結び付ける等により、体系的な言語の習得、自発的な発生を促す支援を行う</p> <p>⑥受容言語と表出言語の支援 ・発達段階に応じた言葉や文字を使って相手の意図を理解したり（受容）自分の考えを伝える（表出）支援を行う</p> <p>㊤人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 ・個々に配慮された場面での人との相互作用を通して、コミュニケーション能力向上のための支援を行う</p> <p>④指さし、身振り、サイン等の活用 ・指さし、身振り、サイン等を用いて発達段階に応じ環境の理解と意思の伝達ができる機会を積み重ねていけるような支援を行う</p> <p>㊤読み書き能力向上のための支援 ・特性に応じた読み書きの向上のための支援を行う</p> <p>④コミュニケーション危機の活用 ・各種の文字、記号、絵カード、機器等のコミュニケーション手段を選択活用し環境の理解と意思の伝達が円滑に出来るよう支援を行う</p> <p>㊤手話、点字、音声、文字等のコミュニケーション手段の活用 ・音声、文字、触覚等の多様なコミュニケーション手段を活用し、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「良い言葉、嫌な言葉」 ・絵本、紙芝居の読み聞かせ ・集団レクでの発表 ・要求言語 ・報告言語 ・経験の報告 ・文章や句で話す ・自分の気持ちを伝える ・相手の話を聞く ・アイコンタクト ・ジェスチャー ・視覚的教材によるスケジュール化 ・点字を使った教材、遊び道具

領域・ねらい	支援内容	具体的な活動例
 <p>⑥他者との関わり（人間関係）の形成</p> <p>⑥自己理解と行動の調整</p> <p>③仲間づくりと集団への参加</p>	<p>㊤アタッチメント（愛着行動）の形成 ・人間関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う</p> <p>⑥模倣行動の支援 ・遊び等を通して人の動きを模倣することにより社会性や対人関係の芽生えを促していく環境調整、関わりの支援を行う</p> <p>㊤感覚運動遊びから象徴遊びへの支援 ・発達段階に応じた感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせるための遊びの環境調整を行う ・見立て遊びやごっこ遊び等の抽象遊びを通し関わり方を提案する中で徐々に社会性の発達の支援を行う</p> <p>④一人遊びから協働遊びへの支援 ・一人遊びから並行遊び、連動遊び、役割分担やルールを守って遊ぶ協働遊びを通してスモールステップで遊びの育ちを促し社会性の発達の支援を行う</p> <p>㊤自己の理解とコントロールのための支援 ・発達段階に応じた関わり方の提案をし、自分のできること出来ないことなど自分の行動の特徴を理解し気持ちや情動の調整が出来るような支援を行う</p> <p>④集団への参加の支援 ・発達段階や特性に応じ、集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団生活に参加できるような支援を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・会話 ・お買い物ごっこ ・おままごと ・避難訓練 ・一人遊び、余暇活動の過ごし方 ・表現や気持ちの理解などソーシャルスキルトレーニング ・お買い物、設見学、体験、公共のマナー ・集団レクの参加

※活動内容については随時追記しています。

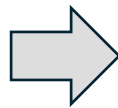
家族支援



家族に対して障害の特性や発達の各段階に応じて子どもの「育ち」や「暮らし」を安定させることを基本に置き、保護者の思いを尊重し、保護者に寄り添いながら丁寧な支援を行って行きます

ねらい	A：支援内容
㉔家族から相談に対する適切な助言やアタッチメント形成（愛着行動）等への支援 ㉕家庭の子育て環境の整備 ㉖関係者・関係機関との連携による支援	㉔子どもに関する情報の提供と定期的な支援調整 ㉕子育て上の課題と聞き取りと必要な助言 ㉖子どもの発達上の課題についての気づきの促しとその後の支援 ㉗子どもを支援する輪を広げるための橋渡し ㉘相談支援員との定期的な支援会議や支援計画の調整 ㉙関係者・関係機関の連携による支援体制の構築 ㉚家族プログラム（個別の面談等）の実施
具体的支援内容	
○子育ての悩みなどに対する相談を行い、様々な家族の負担を軽減していくための家族全体（父母、祖父母、兄弟）の相談援助等の支援を行っていく ○家庭内での療育において「子どもの成長を支える力」を付けられるような支援を行っていく ○支援場面の観察や参加等の機会を提供し、子どもの特性や特性を踏まえた子どもへの関わり方等に関して相談支援等を行っていく ○保護者の時間を保証するために、子どものケアを一時的に代行する支援を行っていく	

地域支援



障がいのある子どもの地域社会への参加・包容（インクルージョン）を推進するため関係機関との連携を進め、地域の子育て環境や支援体制の構築を図っていきます

ねらい	A：支援内容
㉔地域における連携の核としての役割 ㉕地域の子育て環境の構築 ㉖地域の支援体制の構築	㉔医療機関、保健所、児童相談所等の専門機関との連携 ㉕教育機関の関係者等との連携 ㉖個別のケース検討のための会議への出席
具体的支援内容	
○社会生活や経験の範囲が制限されてしまわないように社会経験の幅を広げていく ○他の社会福祉事業や地域において放課後等に行われている多様な学習・体験・交流活動等との連携、ボランティアの受け入れ等により、積極的に地域との交流を図っていく ○移行支援を含め可能な限り教育等の支援を受け入れられるようにしていくと共に、同年代の子どもとの集団の中での仲間作りを図っていく ○ライフステージに添って、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育、就労支援等の関係機関が連携を図り、切れ目のない一貫した支援を提供する体制構築を図っていく	